

国労東北自動車支部

「東北交運労協

バス部会」開催

第1回

4月30日(木)14時より仙台市「NEUBIL」4階において「東北交運労協第1回バス部会」が開催された。国労からは原子地本書記長、北山自動車支部委員長が参加し「バス部会制度・政策要求」の取りまとめについて議論をし、合わせて東北運輸局との意見交換も行われた。



冒頭、小池部会長(私鉄総連)より「昨年10月にバス部会を開催し、その後、総会を開いて新たな政策を事務局中心に提出しながら、今日を迎えている。要求についても、昨年12月に半分、回答を頂いているので、残った部分を東北陸運局より回答を貰って、バス交通に関する政策要求を前に進める取り組みを引き続きやっていく。」と挨拶がされた。

来賓には、東北交運労協の氏家議長が挨拶し、その後、自己紹介、陸運局との「バス事業行政懇談会」で意見交換を行い、次回、バス部会を9月24日(木)、会津若松市で開催することを決定し終了した。

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,65
2015.5.16

国労加入
で職場を
変えよう

東北陸運局との意見交換要旨

質問1・昔は、18歳採用でも車掌をやって運転手になった。一部では、二種免許取得年齢を20歳に引き下げる話もあるが、高校を卒業して20歳まで何をやらせるか各社、頭を悩ませている。取得にあたって、行政の補助も含め課題になっているのではないか。

回答・内勤で運行補助をやらせながら会社が免許を取らせたり、貸付金という形で、運転手を育てているところもある。国交省として取得に対し、直接、支援できるようなお金は持ち合わせていないが、厚労省の方でキャリア形成促進助成金があり、免許取得の費用とか、取得のための時間に対する賃金の助成とかある。バス事業者の会合等でアドバイスを行っている。

質問2・アルバイト的な運転手が地域でかなりいる。小さい会社で、冠婚葬祭の時だけ出社し、運転手をやっているの、監査

強化をお願いしたい。

回答・アルバイト的な運転手がいるということについて、どこの事業者なのかお知らせを頂きたい。監査に入って指導をし、それなりの対応をしたい。

質問3・常磐道全線開通にともない、一部の事業者は、避難困難区域も含め走行している。自動車二輪は禁止されているが、線量問題など今後どう考えるか。

回答・4月から相馬〜東京間を高速乗合バスが運行している。線量問題で、迂回運行の指示は出ていないので、通常運行で問題ないと考えている。

質問4・なぜ辞めていくのか考えると、長い拘束時間、不規則で決まった時間に食事が取れない。8時間の休憩時間では足りないのでは。賃金も安い。

回答・関越道の事故を受けて走行キロ・時間において従来より厳しく制限されているが、まだ、きついということか。厚労省の話し合いで申し上げていく。

福島県支部郡山設備分会
4/28付 東労組から加入
佐藤拓美さん(36歳)